

## 代表プロフィール

松元 辰也 (Matsumoto Tatsuya) 1954年8月9日生まれ

関西大学商学部卒 アメリカ経営学専攻

不動産会社、不動産鑑定会社、コンピュータ会社勤務を経て30歳でコンピュータソフト開発会社を起業 47歳で解散 中古不動産販売会社で再度サラリーマン生活を経験後起業 鹿児島県始良市在住 営業コンサルタント

基本理念【 道徳的リーダーシップの構築 】バーナード「経営者の役割」より抜粋 (295 頁)

チェスター・I・バーナード (Chester Irving Barnard, 1886 年 ~ 1961 年) は、1927 年から約 20 年間、アメリカのベル電話システム傘下の ニュージャージー・ベル電話会社社長を務め、その社長在任中の 1938 年に主著『経営者の役割』を刊行し、大恐慌以降 1930 年代の長期にわたる不況と厳しい労使対立のなかで、経営者のとるべき行動、リーダーシップを支える組織理論を構築。

彼は、その著書の中で、「最終的には、組織の存続はリーダーシップの良否に依存し、その良否はその基盤にある道徳性の高さから生ずる。つまり、創造職能（つまり道徳的リーダーシップ）こそが、管理過程において最終的に必要とされる要因なのである」と述べています。

私は、今の経営者に欠けているものは、まさに「道徳性の高さ」であると思っています。そして、ここに不況を乗り切るキーワードが隠されているとも感じています。

ごあいさつ

TM営業コンサルタント代表 松元辰也は、コンピュータの黎明期にシステム開発の最前線で働いていた為、様々な業種の企業秘密といえる部分の情報にふれることができました。その経験が、現在、クライアントのかかえる問題点を解決するのに生かされています。今後も様々な機会を借りて、17年間の社長業での経験を、お伝えしていきたいと考えています。みなさんの、起業への取り組みや、現在の問題点の解消に少しでもお役に立てれば、望外の幸せです。

松元辰也